



10周年を節目に、更なるご協力を

ほたる飛び交う中地区をめざす運動の会 会長 森田 弘

中小学校へほたるが飛び交い、多くの感動を与え、中地区の一大行事になった「中地区のほたるを観る会」が今年 10 回目を迎えて「10 周年記念誌」を発行し、中地区全戸（725 戸）、関係諸機関（小山市内小中学校）・各地区の公民館・支援者等に配布いたしました。

自治会を中心にした地区ボランティア、学校、PTAの活動をまとめたものです。ぜひご一読して下さい。

今年は、水辺のビオトープの木道整備、ヘドロの清掃を行い、以前のようにめだかが群れをなして泳ぎまわる様子が観察できるように作業を行いました。

今後も中小児童の夢「巴波川にほたるを蘇らせよう」の実現の推進と地域や自然を愛する心の更なる育成を目指して活動を続けたいと思います。

ご協力よろしくお願いします。

ほたと田んぼの活動より

中小学校長 佐藤 茂男

平成 13 年に始まったほたるの活動。当時の 5 年生が総合的な学習の時間に、中地区にはたくさんほたるが飛んでいたことを知り、「うずま川にホタルを甦らせたい」という思いでスタートしました。同時に田んぼの活動も始まりました。

今も当時の思いは継続され活動が続いています。昨年と今年、6 年生が理科室のビオトープでほたるを育てました。今年は丁度「ほたるを観る会」の夜、理科室のほたるも飛び立ちました。6 年生と担任がとても感動していた光景を思い出しました。理科室で生えたほたるは巴波川の蜷橋の所に放しました。数は少ないけれど「ほたるを巴波川に」の夢の実現に向けて活動しています。

田んぼの活動では、5 月に田植えをした苗がすくすくと成長し、9 月 7 日（水）に稲刈りを行いました。刈った稲は天日干しにして脱穀をしました。本年度は 141kg のお米が収穫できました。

ご協力ありがとうございました。

本校の特色である「ほたる」や「たんぼ」の活動を通して、地域の方々に学んだり自然とふれあったりしながら、豊かな心を持つ中小の子ども達を育てていきたいと思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



・自然の恵みに
・地域の方に



感謝

・ボランティアさんに
・先生に・PTAに・友達に



5 月に田植えした稲が成長していく様子を登校の度に目にして確かめてきた子供たちの稲刈りと脱穀作業が、学校ボランティアさんと PTA さんのご協力により行われました。不順な天候続きで心配しましたが、松本昭二さん他の方々のご協力のおかげでたくさんのお米が収穫できました。

ほめられてうれしかった 1年

いねかりをはじめてやったら、6 ねんせいのおねえさんが、「じょうずだね。」といってくれました。うれしかったです。

たくさんお米がとれた 2年

2 回目のいねかりだったのできょ年よりじょうずにできました。でもかまっていねをかるのがむずかしかったです。

お米がたくさんとれてよかったです。



～ 作業の後、ボランティアさんと ～

今年もいっぱいお米がとれるかな 3年

私は 3 回目のいねかりをしました。もうなれてきました。去年よりも、お米がたくさんとれるとうれしいです。

※ 作業の後、学年そろって元気よく「ありがとうございました！」と深々と礼をして教室へ向かいました。「ありがとう」という度に子どもの豊かな心が育っていくような気がしました。みんなの汗でお米も、そこにいた人々の心も豊かに実りました。

今年もいっぱいほたるが飛びました

ボランティアさんが自宅で、子どもさんは学校でそれぞれ育てたホタルの幼虫が校庭の「ほたるのビオトープ」で、「理科室のミニビオトープ」で孵化してたくさんほたるが地域の人や私たちを楽しませてくれました。5 月の天候不順のために果たして飛んでくれるのか気がかりでしたがほたるの飛び交う様子が観られてホッとしました。

イベント会場もほたるかご編み・ほたるの折り紙・ビデオ放映・クイズコーナー・子どもたちの研究作品展示などがもうけられました。屋外では、PTA 役員 OB の夜店や育成会の方々の売店もあり、大変な賑わいでした。10 回目を迎えた「中地区ほたるを観る会」は地域の行事としてだんだんと定着してきています。

楽しかったなあ

4年

ホタルを見る会でいろんなことに参加しました。まず、さい初にホタルのおりがみをおりました。楽しかったです。次にホタルかごを作りました。むずかしかったけど楽しかったです。

ホタルはいっぱい飛んでいました。とてもきれいです。ほたるをみる会はとても楽しかったです。

くらやみの中を

5年

今年も去年と同じくホタルが飛んでくれました。くらいやみの中を黄色い丸いものがチカチカと光りながら動く様子がとてもきれいでした。光りながら静かに飛んでいるホタルを見ていると、私の体もフワフワとういていくように感じました。また来年も会いたいです。

5年生のころ、うずま川へ行って調査したり、パソコンで調べたりしてきたことを基にして、理科室にミニビオトープを作りました。

2つのグループに分かれて、それぞれ水の流れや土の形が違うビオトープを作ることから考えて、とても大変でした。時間がかかったり、震災で崩れたりしました。

でも6月に私たちのビオトープのほたるはたくさん飛んで感動しました。来年の6年生にもこの感動を味わってほしいです。

私たちは5年生の頃からこれまでの活動を見習って、ホタルが飛ぶようにと学習してきました。うずま川に行ったり、新井さんにアドバイスしていただいたり、ミニビオトープの清掃をしたりしました。

ホタルのすみやすい環境を作り、たくさんのホタルに飛んでほしいという願いのもと、先輩の方々や地域の方々、先生たちが協力してくださったおかげで私たちのミニビオトープでホタルが飛びました。

その時の喜びを今の5年生にも伝えたいです。

※ 自分たちが苦勞して育てたほたる達が地域の人々を感動させている。ほたるの活動で、児童のこのような体験はほんとうに素晴らしいことです。

一口メモ



「稲」と「米」の語源

「稲」… 稲は「イ」と「ネ」に分解できます。「イ」は、「命」とか「息」のこと、「ネ」は(根)のこと、つまり「命の根」という意味であると言われています。

「米」… 様々な説があります。

形から

- ・米粒は「小さい実」これがつまって、「小実」さらに訛なまって「コメ」になった。
- ・米粒の形は目に似ているから「小目」訛なまって「コメ」となった。

状態から

- ・米粒はもみ殻の中にこもっているから「こもる」が転じて「コメ」となった。

- ・「こ」は「食う(く)」の転音、「め」は「芽」または「実」、要するに「食う芽<実>」という意味から「コメ」となった。

110周年を記念して

～ ほたる飛び交う中地区を目指す運動の会 ～

平成13年に建ち上がった本会は、さまざまな行事や活動を続け、中小学校の子どもは、諸々の機会にほたるについての研究発表を重ねてきました。「ほたるを観る会」は地域や市内の人も来校され、各紙報道により広く知れ渡るようになりながら今年で10周年を迎えることができました。

この節目の年に10周年記念誌」を発行しました。10回の編集会議を設けて何とかまとめることができました。原稿をご提供の皆様ありがとうございました。

中地区全戸(725戸)・各地区公民館・市内小、中学校・支援者・関係の諸機関等にお届けしました。時々、お目を通して私たちの活動の様子をご理解いただけたら幸いです。

また、10周年記念祝賀会を開催しました。

小山市長様・教育長様・元、中小学校長様・自治会長様・中公民館長様・本会の役員・先生方など大勢参加され、思い出話やカラオケなど和気あいあいのうちに会が進み、記念写真を撮ってめでたく閉会しました。中地区の絆はさらに強められました。



水辺のビオトープ改修工事

水辺のビオトープは前回改修工事をしてから7年経ち老朽化してきたので全面改修をすることになりました。

今まで、すんでいた魚やメダカは生物観察をした後理科室の水槽に移して新しい水辺のビオトープの完成を待っています。

10月15日(土)8時30分に会長のあいさつの後、施設班長の小暮さんが作業の段取りを説明して始まりました。あいにくの雨天なのでビオトープいっぱいシートを広げ、屋根にして作業をしました。

まずは、ビオトープの底のヘドロを洗いをして外に出します。その間別のところで橋脚に上に乗せる橋げたの角材を切り出し作業が進められています。準備が整ったら今度は橋自治会長さんたちの渾身の気合で数十本角材を取り付けました。15センチほどで橋げたができます。位置や高さをいもなく通路が出来つつあります。

その上に厚さ5センチほどの厚板をの姿が見えてきました。U型の木道はもがまとまって観察できるように配慮された。また、側面の板張り作業も行われて仕雑巾できれいに拭いて新しい水辺のビオトープ一緒に汗を流したボランティアさん達。



～ 新しい木道を前にして ～

脚となる丸太の撃ち込みです。力が自慢の杭が撃ち込まれて橋脚ができると脚の上の長ねじ釘を「電動ねじ回し」で固定するこ揃えるむずかしい作業ですが、寸分のくる

電動ねじ回しで固定する作業で新しい木道2か所の踊り場がもうけられクラスの子どれています。

事は午後2時30分ごろ全面終了！最後はトープが完成しました。

の集合写真を撮ってから作業は終了しまし

美しく丈夫な新しい木道は、9月29(土)の「えのき祭」に来られる地域の皆さんに見ていただくよう待っています。

＝編集後記＝

「うずまのほたる」第18号発行にあたり多くのご協力をいただき感謝いたします。今回は年は10周年記念・ビオトープ改修工事などがありました。

うずまのほたるー 広報班

神山 芳典・神山 宜久・田波耕太郎・田中 佐一・黒須かな子・須賀 幸江
小川 真美・前田 秋子・荒井 淑恵・田中 國雄・田澤 均・大熊 幸子